

所属人数

計		787
内訳	19歳以下	147
	20～39歳	9
	40～55歳	10
	55～74歳	37
	75歳以上	27
	市外在住者	15

内訳不明：19歳以上512人

1 活動の概要

①活動の有無

実施	8
形態を変えて実施、もしくは代替事業	-
中止	-

②活動の範囲

古賀市内	8
古賀市外	3

<設問2の質問項目変更案>

「団体等の活動目標」の項目のうち、団体の活動で該当する項目は「該当有無」で✓をつけ、その項目における「評価」と「今後の方向性」をつけてください。

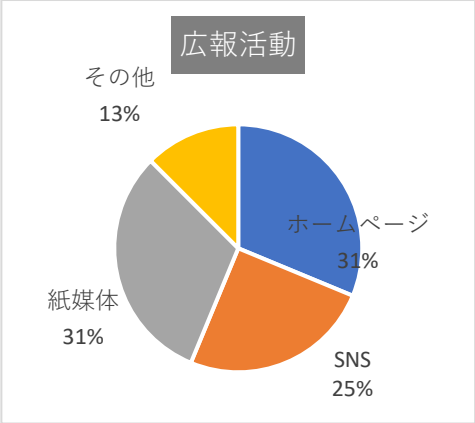
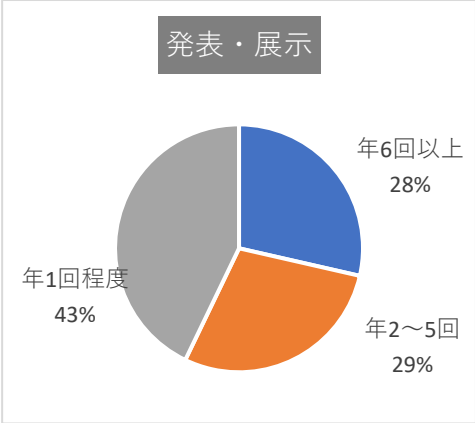
2 「団体等の活動目標」の該当項目での評価をつけてください。

	該当有無	評価				今後の方向性			
		1	2	3	4	拡充	維持	見直し	廃止、終了
①文化芸術に関する積極的なアイデアの発信と雰囲気づくり	7	-	1	5	-	2	5	-	-
②市民が楽しめる文化芸術イベントの実施と魅力の発信	8	-	1	5	1	1	6	1	-
③団体間や多様な人々との交流を深める活動の推進	8	-	-	6	2	3	5	-	-
④継続的な活動の推進	7	-	-	5	2	2	5	-	-
⑤古賀の「たから」をテーマにした魅力の発信	7	-	2	3	2	3	4	-	-
⑥団体継続のための人材育成	7	-	2	5	-	3	2	2	-

3 活動を行うにあたり、団体以外への成果の発信としてどのようなことを実施してきましたか。

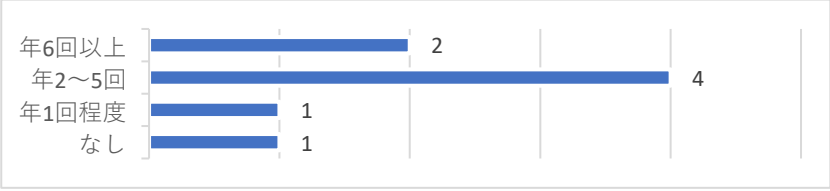
「発表・展示」「広報活動」「その他」の項目ごとに回答ください。

発表・展示	年6回以上	2
	年2～5回	2
	年1回程度	3
	なし	－
広報活動	ホームページ	5
	SNS	4
	紙媒体	5
	その他	2
その他		－



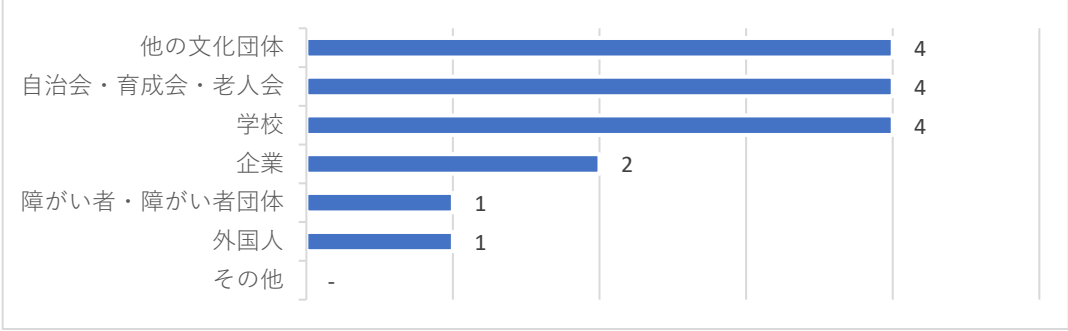
4 団体の活動やその文化芸術を知ってもらう又は触れてもらうため、市民が体験できる機会をつくりましたか。

年6回以上	2
年2～5回	4
年1回程度	1
なし	1



5 活動を行うにあたり、これまで交流や連携を行ったことがある対象について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

他の文化団体	4
自治会・育成会・老人会	4
学校	4
企業	2
障がい者・障がい者団体	1
外国人	1
その他	－



6-1 これまで古賀の「たから」を活用したことがありますか。

はい	7
いいえ	1

<設問6-1～7に対する疑問>
古賀の「たから」が分かりづらくて、回答に苦慮した。

6-2 設問6-1で「はい」と回答した場合は、活用した古賀の「たから」を教えてください。

- ・文化財、歴史的建造物
- ・リーパスプラザこが 大ホール（定期演奏会、第九演奏会）、音楽（クラシック）、公民館での行事の際のボランティア演奏（婦人会、敬老会、子供会）、団地での夏祭りのボランティア演奏
- ・県外市外で、古賀市のPRが、私たち古賀連の宝です
- ・指定文化財（国、県、市指定）、歴史上の人物（薦野増時、中村哲、薄怨一他）、神社仏閣、清滝仕掛け水、薬王寺水辺公園
- ・公開講座で毎年80名以上の人をリーパスプラザの多目的に集め、郷土の武将、薦野増時、米多比鎮久の活躍を講演しています。又、古賀郷土の民俗や郷土の歴史など古賀に関する事柄を発表しています。
- ・芸術文化の祭典時の美術展で「古賀の宝みつけた」コーナーを掲示している 版画家 加藤さん、元宝塚 秋音光さん、イラスト 渋谷華暖さん等
- ・リーパスプラザこが

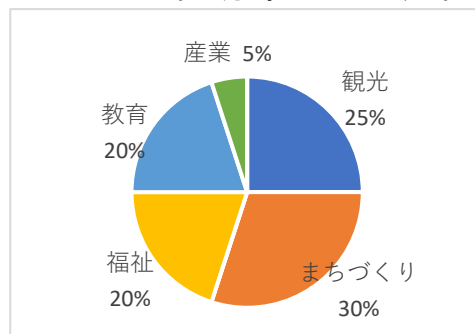
7 設問6-2以外に、貴団体の考える古賀の「たから」を教えてください。

- ・私達の活動について、子どもたちが古賀の「たから」であり、その児童が描く古賀の自然景観、まちなみがたからと考えます。活動したか？という問いには「いいえ」と書きましたが、すべてが「たから」と感じます。携わって下さる学生、ボランティアの方々、協賛を下さる企業や、関わって下さる行政・学校の皆様がみな、子どものためにと動いて下さる「たから」と考えます。質問の趣旨からは離れた回答になりますが、すみません。
- ・文化芸術に関わっている人たち
- ・病院や老人施設などの慰問演奏
- ・古賀の市のマークを背負って（Tシャツ）全国にPRできることが宝です。
- ・指定文化財（国、県、市指定）、自然（未来に残したい巨木、薬王寺水辺公園、興山園、千鳥池など）、神社仏閣、歴史上の人物（薦野増時、中村哲、薄怨一他）、ため池、清滝仕掛け水、大根川親水空間、象の水辺、食品工業団地（工場見学）
- ・郷土に特化した歴史、民俗などを調べて伝えていく 「郷土史研究会20周年記念誌」では特に古賀郷土に関する記事を掲載、「花鶴発見伝」では花鶴鹿部の地域の事柄を網羅した冊子を作って、古賀市長に喜ばれました

8 文化芸術基本法では、文化芸術の振興だけではなく、さまざまな関連分野との関わりが重要とされています。

活動を行うにあたり、これまで関わったことがある分野について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

観光	5
まちづくり	6
国際交流	—
福祉	4
教育	4
産業	1
その他	—



9 これまでの設問1～7の問いを振り返り、「市民の文化芸術活動ビジョン」ごとに、どの程度、貢献できたと思いますか。

	評価			
	1	2	3	4
①市民が文化芸術に関心を持ち、心豊かに学び、文化芸術に触れる機会が増えたと思う。	－	－	7	1
②市民が市や団体等の文化芸術活動に参加し、個性や能力を発揮したと思う。	－	3	4	1
③市民が文化芸術活動を通じて、新たな仲間をつくり社会や多世代の人々と積極的に交流し、それらの活動を次世代に継承したと思う。	－	3	4	1
④新たな発想で仲間と協力しながら文化芸術活動を続けたと思う。	－	4	3	1
⑤市民が古賀市の文化財への理解を深め、ふるさとへの愛着や誇りをもったと思う。	－	2	5	1
⑥市民が古賀市の文化芸術や文化財の魅力を発見し、未来に伝えたと思う。	－	1	6	1

10 文化活動を行うにあたり、現在の古賀市の環境をどう感じますか？

活動しやすい	2
やや活動しやすい	2
普通	3
やや活動しにくい	1
活動しにくい	－

11 設問10の回答から、古賀市で活動するにあたって、どのようなところが活動しやすい又は活動しにくいですか。その内容をご記入ください。

- ・①「つながり広場」さんの存在が、「問題がおこった時にどこに相談したらよいか、どんな活動団体があり、どうつながればいいか等、心身になりアドバイスをいただける」ので、とても大きいと思います。文化課にもお世話になっています。②「やや」にしたのは、我々がうまく学校教育課や市の他の課とうまくつながることができず、全国的にみた他の児童作品展の実行委員会としては、市とのつながりが難しいところです。
- ・古賀市内での活動になるので、比較できない。大ホール使用時の導線、各主催者によって異なる点（公民館としての使用の為、しにくさがあるように思われる）
- ・①施設の予約などスムーズに対応してくださる。②団にとって有益な情報を積極的にお知らせくださる。
- ・市民の声を聞いてくれない。子どもたちや地域に健康になってほしい、また、元気を伝えたいと思っても、いくら頑張っても無。自治会等、地域に協力してほしいこと、子どもたちのためにもっと親も協力してほしいこと、悪いことしてないのにこわされそうになり、それでもチームで頑張った。古賀連は古賀を背負って全国に元気を届けています。これからも、いつまでか分からないが、後続くようにチームの仲間と交流続けて、古賀を元気に活動します。
- ・文化財課（歴史資料館含む）やまちづくり推進課、生涯学習課との連携とつながりひろばの支援がある。他地区の観光ボランティア活動支援と比べると劣る。社協や市所有のバスの利用ができない。
- ・史跡を案内するのに市のマイクロバスが借りられないので、マイカーで案内することになるので、マイクロバスの使用が出来るといいと思います。交流館の室を毎月使用している（103号）のに、3回使用していなかったという理由で、先行予約をはずされ一般の申込になりました。これまで長年103号を使った実績があるのに、先行予約をはずすとは杓子定規な事をする職員の態度をもう少し考えてほしい。
- ・①活動しやすい所・・・活動する場所、会場は、いろんな場所があり、恵まれていると思う。（リーパス、千鳥苑、各公民館、体育館等）②活動しにくい所・・・活動資金不足、人材不足、市民の文化活動に対しての興味感心不足
- ・リーパスプラザでのイベント情報をホームページなどでもっと広く発信して欲しい。

<設問2の質問項目変更案>

回答欄を「活動しやすいところ」「活動しにくいところ」と分ける